

生育は平年並。茎数過剰ほ場が散見

～中干しを徹底し、適正穂肥施用で品質向上をめざしましょう～

1 水稻生育状況【6月19日現在】

草丈：平年並～やや短い	茎数：平年並～多
葉数：平年並	葉色：平年並～濃い

- 田植え後の低温等の影響もあり、茎数が少なめに推移していましたが、5月下旬以降の好天により茎数の回復が見られます。
- 6月12日頃の強風により葉先に傷みの見られるほ場などでは茎数が少なめですが、茎数過剰なほ場も見られることから、今後、籾数過剰や倒伏などによる品質低下を引き起こさないよう、中干しを徹底しましょう。
- 今後1か月間の気象は、平年と同様に雨や曇りの日が多く、気温が高めと予報されており、草丈の急伸張を伴う過剰生育が懸念されますので、今後の生育情報に注意し、適期適量の穂肥が施用できる稲姿をめざしましょう。

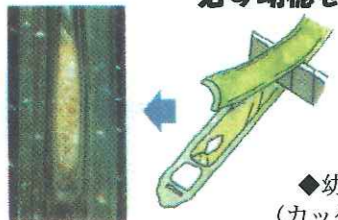
水稻生育状況(6月19日現在)

品種名	地域名	田植日 (播種日)	草丈(cm)			茎数(本/m ²)			葉数(L)			葉色(SPAD)		
			本年値	前年比	平年比	本年値	前年比	平年比	本年値	前年比	平年比	本年値	前年比	平年比
コシヒカリBL	水原 下条	5/10	34	76%	80%	357	99%	85%	8.5	1.0	1.0	36.9	1.0	0.9
	京ヶ瀬 駒林	5/5	40	102%	98%	395	132%	108%	8.4	-0.4	-0.7	39.2	0.9	-0.7
	安田 籠田	5/11	30	81%	85%	280	56%	79%	8.5	-0.4	0.0	38.6	-0.9	-0.4
	笹神 宮島	5/3	37	91%	101%	296	74%	77%	8.5	-0.7	-0.4	42.8	6.1	5.4
	笹神 沖	5/7	34	117%	106%	385	143%	118%	8.7	0.5	0.0	37.5	2.0	2.6
こしいぶき	水原 堀越	5/5	38	99%	102%	574	127%	142%	9.1	0.5	-0.2	44.3	-0.9	0.5
	京ヶ瀬 京ヶ島	5/3	36	95%	-	602	106%	-	8.7	0.2	-	48.7	6.9	-
	安田 籠田	5/11	28	81%	81%	290	75%	90%	8.5	0.9	1.0	40.0	1.0	0.9
五百万石	水原 福田	5/7	30	91%	88%	319	88%	98%	8.3	-0.3	-0.8	46.4	5.8	4.7
直播コシヒカリ	水原 門前	5/1播	28	104%	102%	353	82%	100%	7.3	0.0	0.5	37.6	2.3	1.2

2 今後の栽培管理

- 中干し・溝切りが未実施のほ場は速やかに実施しましょう！＜過剰生育防止・地耐力確保＞
- 中干しは出穂の1か月前までに終了し、出穂25日前から湛水管理を行いましょう！＜カドミウム吸収抑制対策＞
- 穂肥対応 ～倒伏防止・良食味米生産のため、穂肥は、まず幼穂を確認してから！～
幼穂の伸長は、梅雨期間中の日照時間や気温、梅雨期間の長短等によって大きく変動します。よって、右表(主要品種別出穂予想と穂肥の目安)はあくまでも目安とし必ず幼穂を確認して穂肥施用を判断してください。

必ず幼穂を確認しよう！



◆幼穂の確認方法
(カッターなどで割る)

こしいぶきは幼穂長1mm
(出穂23日前)、コシヒカリは
1cm(出穂18日前)が1回目
穂肥時期の目安です。

【幼穂長の目安】

出穂前 日数	幼穂長 (cm)
30	0.02
23	0.1
20	0.2
18	0.5～1.0
12	4.0～6.0

◆環境にやさしい稲づくりで消費者に選ばれる米づくり◆

～阿賀野市全域で、化学肥料や農薬を慣行栽培より3割以上低減する栽培に取り組ましよう！～

表 6月20日現在の主要品種別出穂予想と穂肥の目安

～出穂期は5/10田植え及び連休田植えで平年に比べやや遅い(平年比+2日)見込み～

品種名	出穂予想		10a当たり 穂肥窒素 量	5/10田植えにおける穂肥時期の目安		湛水管理開始期	
	早い移植 は種:4/上旬 移植:5/5頃	適期移植 は種:4/20頃 移植:5/10頃		1回目 出穂前日数(穂肥時期)	2回目 出穂前日数(穂肥時期)	早い移植	適期移植
こしいぶき	8/1	8/4	2kg	23日前 (7/12)	14日前 (7/21)	7/7～	7/10～
ひとめぼれ	8/3	8/6	2～3kg	25日前～20日前 (7/12～7/17)	14日前～10日前 (7/23～7/27)	7/9～	7/12～
コシヒカリ	8/9	8/12	1～3kg	18日前～15日前 (7/25～7/28)	10日前 (8/2)	7/15～	7/18～
ゆきん子舞	8/1	8/4	2～4kg	25日前～23日前 (7/10～7/12)	14日前 (7/21)	7/7～	7/10～
五百万石	7/27	7/31	1～2kg	20日前 (7/11)	12日前 (7/19)	7/2～	7/6～
こがねもち	8/4	8/7	1～3kg	18日前～15日前 (7/20～7/23)	10日前 (7/28)	7/10～	7/13～
わたぼうし	7/30	8/2	2～3kg	22日前～20日前 (7/11～7/13)	12日前～10日前 (7/21～7/23)	7/5～	7/6～

＜注意＞

- 出穂期は、今後の気温が平年並に推移した場合の予想です。
- 幼穂形成期・出穂期は今後の天候条件により変動するため、JA等の稲作情報を随時確認してください。
- 倒伏防止と後期栄養確保のため、1回目は無理せず「2回目」重点で施用しましょう。
- 3割以上低減栽培推進に向けて、有機質肥料の施用をお薦めします。なお、低地力地域は、肥効が緩やかな有機質肥料や緩効性肥料を使用し後期栄養対策を万全に行いましょう。

(4) 病害虫の発生状況と対策

○いもち病

- ・至急！補植苗が散見されます。早急には場から撤去してください。
- ・早生品種、大豆跡水稻は葉いもち防除を徹底してください。(予防剤の施用は早急に行おう)
- ・コシヒカリBL導入以前においていもち病多発生が懸念されていた地域では、JA等の指導に従い全品種で葉いもち対策を行いましょう。

○カメムシ類～一斉草刈りを実施しよう！～

近年、「アカスジカメムシ」が増加傾向です。昨年は斑点米による格落ちが高い地域がありました。草刈りの徹底と薬剤防除の実施で、斑点米ゼロをめざしましょう。



アカスジカメムシ



アカヒゲホソドリカスミカメ

第1回一斉草刈り		第2回一斉草刈り	
6月22日～7月1日		7月13～22日	
※ 第1回一斉草刈り後から3週間以内に第2回一斉草刈りを行う		例>7/1草刈り実施→7/22までに次の草刈りを実施	
※ 第2回一斉草刈りは、早生品種の出穂前までに終了できるよう、計画的に実施する			
※ 草刈り推進期間後も草刈りを定期的に行い、雑草が繁茂していない状態を保つことで、カメムシの増殖はより抑制される			
※ 雑草管理がおろそかな場合、イネの出穂期以降に草刈りを行うとカメムシを水田内に追い込み、斑点米の発生を助長し逆効果となるので行わない			

★みどりの畦畔づくり運動推進中 ～除草剤に頼るのは確かに低労力ですが・・・ちょっとまって！～★

農村環境の保全や農作物への除草剤飛散を未然に防ぐためにも、農道畦畔の除草はなるべく除草剤を使わず草刈り機等で行いましょう！